



感染症の基礎知識 第2回～感染経路～

<学習力を高める方法>

この資料はビデオの内容に沿っています。

学びを深めるためには、単に聞くだけでなく、その時に気づいた点、感じたりした点を一言メモで書き込みながら学びを進めましょう。記憶に残りやすく、感性が育ちます。

CHAPTER1:「感染経路」とは何でしょうか？

- 「感染経路」とは
 - 感染源（感染した人や動物、排泄物など）から
 - 菌やウイルスが人にうつり感染してしまう道すじ
 - 感染の発生は、感染源となる菌やウイルスが人間に侵入する必要がある
 - 感染経路を遮断、絶つことが重要な対策の1つ

- 高齢者施設の状況
 - 感染源になるものに接する機会が多い
 - 抵抗力の低下した感染しやすい人が集団で生活
 - 3要素のうち2つがすでに揃っている
 - 3つ目の要素「感染経路」が揃うと感染の連鎖が成立

- まず大切なこと
 - 目に見えない病原体が「どこから」「どのように」入ってくるのかを知る

注意すべき感染経路は主に3つ

1. 接触感染
2. 飛沫感染
3. 空気感染

「接触感染」とは

感染源がある皮膚や粘膜の直接的な接触によっておこる感染

- 汚染された食品、物、手、汚物や嘔吐物を介する
 - 手、ドアノブ、手すり、便座などに接触して感染源が付着している
 -
- 「接触感染」が一番頻度の高い感染経路だと言われている
主な感染症の例
 - ノロウイルス

- MRSA
- 疥癬
- 緑膿菌

「飛沫感染」とは

咳・くしゃみ・会話で飛んだつばやしぶきに含まれる感染源を、鼻や口から吸いこむことによって起こる感染

- 飛沫（つば・しぶきなどの細かい水滴）の届く範囲
 - 水分を含むため 1～2m ほど
 - 空中に浮遊し続けることはない

主な感染症の例

- インフルエンザ
- 風邪
- 風疹

「空気感染」とは

空気中に浮遊している飛沫核を含んだ埃などを吸い込むことで起こる

- 「飛沫核」とは
 - 水分を含んだ飛沫から水分が蒸発した粒子
- 飛沫核の特徴
 - 水分が蒸発し軽いため空気中を浮遊
 - 長時間浮遊し続け、空気の流れに乗って離れた場所間で広がり感染を起こす

主な感染症の例

- 結核
- 水ぼうそう
- はしか